

2018年6月10日(日)10時~11時

橘川記録, 吉村氏補足

鎌倉市役所 防災安全部 総合防災課 H氏の講演, 聴衆はTTQ 隊員24名で一般参加はなかった。

防災安全部は, 危機管理課, 総合防災課, 市民安全課の3課から成る。

H氏は総合防災課所属。東日本大震災後に東北石巻市などへ応援派遣されたとのこと。

講演の要点

1. 鎌倉市地域防災計画 大きな災害発生時の市の対応
情報収集→分析→どの地域・どの程度?→応援(広域)→自衛隊派遣要請(県より)
2. 広域避難場所(大火災時の避難場所)の栄光学園には備蓄無し。ミニ防災拠点の関谷小には備蓄あり。ゆえに避難する所は関谷小。
3. 関谷小の収容能力は1000人くらい。自宅に留まるのが最良。自宅が壊れた場合に関谷小へ避難する。
4. 水や食料の備蓄は3日でなく1週間必要。風呂水の溜め置きをお勧め。
5. 風呂水を飲料水に変える携帯浄水器「スーパーデリオス」を紹介, アマゾンで¥2753, マヨネーズのビニル容器のように手で搾り出し少し汚れた水(風呂の水や山の沢水)を「飲める水」にする。あくまで応急用。
5. 井戸水を汲み出せてもそれが飲める水であるための維持には, 普段から大変コストがかかる。
6. 大災害時に自衛隊や消防の出動場所には優先順位がつけられる。
7. 玉縄台住宅地内に3箇所の貯水槽がある。それを使うことの許可は不要。カギは?

質疑応答

Q1. この地域の消防団は?

⇒玉縄消防署の隣り。数年前に隣家の火事あり, 死亡者発生に対応できなかった。

Q2. 「無事です避難しません」の白い布付けを市として標準化で推進しているのか?

⇒空き巣を誘引する恐れあり推進していない。家に人がいる証なのに質問と答えがかみ合わなかった。

Q3. 栄光学園の「広域避難所」から「補助避難所」への切り替えはどのように?

⇒補助避難所として切り替えられた時点で屋内へ避難できる。しかし水, 食料の備蓄は無い。切り替えは「状況に応じて」?非常に曖昧である。

Q4. すこやかセンターの「福祉避難所」として開設する場合, 開錠は誰が?

⇒施設管理者が開ける。市の職員, 地元自治会のカギの預け所持は現時点では責任上ない。

以上